

社会参加と自立めざして 役立つと いいなあ

昨年11月の本紙で「うれしい話あり
がとう」という記事を書きました。それ
が具体化し、先週から2週間の予定
で、一人の実習生が来てくれています。

それが写真のU子ちゃん。茨城県立
水戸高等養護学校の2年生です。毎日
の作業は、朝9時から午後4時まで。
鶏にエサをやったり、玉子を集めたり、
先日は配達にも一緒に行きました。

さらに、鶏舎内でケイフンを集めて袋
に詰め、軽トラに積んで、麦畑に散布す

る一連の仕事も経験。さすがに、くたび
れたようでした。でも、満足げな顔に
みえたのは、こっちのひいき目かなあ。

下左の写真で奥のほう、鶏舎の扉を
開けて見守る姿があります。さる30日、
折り返し点ということで、学校から先生
が様子を見にきてくれたのです。ちなみ
に右の囲み記事は、学校のHPからの
転載です。

本人の了解を得て、日誌からの抜き
書きを下記に紹介します。

1/23 今日から実習がはじまりました。
採卵はうまくいけたのでとてもうれし
かったです。

1/24 学校でやってるもみがらつみをや
りました。むずかしかったです。これか
ら2週間がんばりたいです。

1/25 初めてのはいたつに行ってきた
た。むずかしかったです。とりに指と足つ

つかれたのでとても良かったです。

1/26 いっぱい卵があったのでびっくり
しました。卵をきれいにふけたのでうれ
しかったです。これからもつづけたいと思
います。

1/27 午後から畑の仕事をしました。初
めて畑に行ってネギの収穫ができたので
とてもうれしかったです。

水戸高等養護学校とは
義務教育を修了した、障害の
比較的軽い知的障害者の後期中
等教育の充実を図るために、一
人一人の障害の程度や能力、適
性に合った教育を行い、人間の
成長を期するとともに、社会・
職業自立を目指すために設立さ
れた県内初めての高等部単独の
養護学校です。

設置学科は、産業科で8つの
コース[クリーニング、縫製、食
品加工、農園芸、木材工芸、電子、
金属、ビルクリーニング]から成
り、全員が就労に向けて勉学に
励んでいます。また、就労にあ
たり、現場実習にも力を注いで
います。

現場実習とは
働く習慣や働くことの厳しさ、職
場でのルールや職場の方々とのか
かわりを実際に職場での体験を
とおして卒業後の社会参加・自
立に向けて学ぶ学習です。

1/30 すべてしまい卵をわってしまいま
した。すいませんでした。これからは気を
付けて卵をもちたいです。

2/1 午後から除草をやりました。草が
いっぱいはいっていたのでとりました。きれ
いになったのでとてもうれしかったです。



にわとりへのエサやりは、後半、まかせきりにしました。食べ残し
などから判断して、やる量を加減することを教えました。

麦畑にケイフンを散布。袋から少しずつ落とすことが
初めむずかしかったようですが、覚えてくれました。

